

Dell™ Latitude™ X300 および Inspiron™ 300m メディアベース ユーザーズガイド

[メディアベースの使い方](#)
[認可機関の情報](#)
[デル製品の保証および返品について](#)

メモ、注意、および警告



メモ: メモは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意: 注意は、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告: 警告は、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。
© 2003 すべての著作権は Dell Computer Corporation にあります。

Dell Computer Corporation の書面による許可のない複写は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標について: Dell、DELL ロゴ、Inspiron、Latitude および TrueMobile は Dell Computer Corporation の商標です。Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。ENERGY STAR は、U.S. Environmental Protection Agency の登録商標です。ENERGY STAR のパートナーとして、Dell Computer Corporation では、エネルギーの節約のために、当製品を ENERGY STAR のガイドラインに適合させています。

本書では、必要に応じて上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Computer Corporation に所属するものではありません。

PR04S モデル

2003 年 5 月 P/N W1500 Rev. A00

メディアベースの使い方

Dell™ Latitude™ X300 and Inspiron™ 300m メディアベース ユーザーズガイド

- [安全にお使いいただくために](#)
- [メディアベースを使用する際のご注意](#)
- [情報の入手方法](#)
- [メディアベースについて](#)
- [メディアベースのセットアップ](#)
- [メディアベースの固定](#)
- [バッテリーの取り付け](#)
- [コンピュータのドッキング](#)
- [コンピュータのアンドック](#)
- [ドライブの取り付け](#)
- [ドライブの取り外し](#)
- [外付けドライブの接続と取り外し](#)
- [コンピュータが動作中の外付けドライブの置き換え](#)
- [仕様](#)



警告:安全にお使いいただくために

ご自身の身体の安全を守り、メディアベースおよび作業環境を保護するために、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。

一般規定

- 1 トレーニングを受けたサービス技術者以外の方は、ご自身でメディアベースを修理しないでください。各種機器の取り付けに関しては、それぞれの手順に必ず従ってください。
- 1 AC アダプタと延長ケーブルを使用する場合は、延長ケーブルに接続する機器の定格電流の合計が、ケーブルの許容定格電流を超えないことを確認してください。
- 1 メディアベースの通気孔や開口部に異物を押しこまないでください。開口部に異物を押し込むと、内部の部品がショートして、発火や感電の原因となる場合があります。
- 1 メディアベースの電源を入れた状態で、キャリングケースやブリーフケースの中など空気の流れない密封された環境にメディアベースを保管しないでください。空気の流れが悪いと、メディアベースが破損したり、火災の原因になる恐れがあります。
- 1 暖房器具や熱源の近くにメディアベースを設置しないでください。また、冷却用の通気孔を塞がないでください。メディアベースの下に紙を置いたり、メディアベースをキャビネット内、ベッド、ソファ、じゅうたんの上に設置しないでください。
- 1 AC アダプタを使用してメディアベースを実行したり、バッテリーを充電したりする場合は、机やフロアの上などの通気性のよい場所に AC アダプタを置いてください。紙や、冷却効果を妨げるもので AC アダプタを覆わないでください。また、AC アダプタをキャリングケースに入れて使用しないでください。
- 1 AC アダプタは、メディアベースの通常操作時に熱くなることがあります。操作時または使用した直後にアダプタを扱う際は注意してください。
- 1 露出した皮膚にメディアベースの底部を直接載せた状態で、長時間使用しないでください。通常操作時(特に、AC 電源を接続している場合)は、底部の表面が熱くなります。皮膚に触れたままにしておくと、皮膚に悪影響を及ぼし、火傷をする恐れがあります。
- 1 メディアベースは、浴槽の近く、シンク、水泳用プール、湿った地下室など、湿気が多い環境では使用しないでください。
- 1 ご使用のコンピュータに内蔵またはオプションの(PC カード)モデムが付属している場合は、まれに電話線を介して稲妻の電気的なショックが伝わる危険があるので、雷雨が近づいているときはモデムケーブルを取り外してください。

- 1 雷雨の際は、感電の危険を避けるため、ケーブルの抜き差しや本製品の再設定は一切行わないでください。コンピュータからケーブルをすべて取り外してバッテリー電源で使用している場合を除き、雷雨の際はコンピュータを使用しないでください。
- 1 ご使用のコンピュータにモデムが付属している場合は、モデムケーブルには最低 26 AWG(American Wire Gauge)で FCC 準拠の RJ-11 モジュラープラグがあるものをご使用ください。
- 1 メディアベースを清掃する際は、電源コンセントからメディアベースを取り外してください。メディアベースの清掃には、水で湿らせたやわらかい布を使用してください。可燃性物質を含む可能性のある液体または噴霧状のクリーナーを使用しないでください。

電源

- 1 このメディアベース用として認められている Dell 製の AC アダプタのみを使用してください。その他の AC アダプタを使用すると、発火や破裂の恐れがあります。
- 1 メディアベースを電源に接続する前に、AC アダプタの定格電圧が、使用する電源の定格電圧と周波数に適合していることを確認してください。
- 1 メディアベースの電源を遮断するには、コンピュータの電源を切って AC アダプタを電源コンセントから抜いて、バッテリーベイに取り付けられているバッテリーをすべて取り外してください。
- 1 感電の危険を避けるために、AC アダプタやデバイスの電源ケーブルは、正しくアースされている電源コンセントに接続してください。これらの電源ケーブルでは、正しくアースするために、三芯プラグが使用されていることがあります。アダプタプラグを使用したり、アース用のピンをケーブルから取り外したりしないでください。延長ケーブルを使用する場合は、AC アダプタ電源ケーブルに適合する 2 ピンもしくは 3 ピンタイプのものを使用してください。
- 1 AC アダプタの電源ケーブルの上に物を載せないでください。また、人が踏みんだりつまずいたりする恐れのある位置に設置しないでください。
- 1 複数のコンセントがある電力ストリップを使用する場合、AC アダプタの電源ケーブルを電力ストリップへ接続する際は、特に注意してください。電源タップによっては、プラグが正しく差し込まれていなくても、差し込めることがあります。電源プラグを正しく差し込まないと、メディアベースが修復不能な損傷を受けたり、感電したり発火したりする恐れがあります。電源プラグのアースピンが、対応する電源タップのアース端子に挿入されていることを確認します。

バッテリー

- 1 専用の Dell™ バッテリーモジュール以外はご使用にならないでください。その他のタイプのバッテリーモジュールを使用すると、発火や破裂の恐れがあります。
- 1 バッテリーパックは、金属(車のキーやペーパークリップなど)がバッテリーの端子をショートさせる可能性があるポケット、バッグ、または入れ物にいれて持ち運ばないでください。過剰な電流が流れ、バッテリーが極めて高温になり、バッテリーパックが損傷したり、発火や火傷の原因になる場合があります。
- 1 バッテリーは、不適切に取り扱ったり、火傷を負う恐れがあります。バッテリーは分解しないでください。損傷または液漏れしているバッテリーパックは、特に注意して取り扱ってください。バッテリーが損傷している場合、バッテリーセルから電解液が漏れ、けがをする可能性があります。
- 1 バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。
- 1 メディアベースやバッテリーパックは、ラジエータ、暖炉、ストーブ、ヒーターなどの熱源、またはその他の熱を発生する器具の近くに保管したり、放置しないでください。また、60°C を超える熱にさらさないでください。高温になると、バッテリーのセルが破裂したり、爆発して、発火する恐れがあります。
- 1 バッテリーは、焼却処分したり、家庭用のゴミと一緒に廃棄しないでください。バッテリーのセルが破裂することがあります。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口・デル PC リサイクルデスク(電話:044 - 556 - 3481)へお問い合わせください。

飛行機での移動

- 1 飛行機内で Dell コンピュータを使用する際に、米国連邦航空局の規制および各航空会社の制限が適用されることがあります。たとえば、機内で無線周波やその他の電磁信号を故意に発信する可能性のあるパーソナル電子機器 (PED) の使用を禁止する規定 / 規制があります。
 - こうした制限を遵守するために、Dell TrueMobile™、またはその他の無線通信装置がついている Dell ノートブックコンピュータでは、飛行機に乗る前にそのような装置を無効にし、航空機乗務員の指示に従ってください。
 - さらに、飛行機が離着陸などの重要な運航状態にある場合、ノートブックコンピュータなどの PED は、機内での使用を禁じられることがあります。機体が高度 3,050 m 以下にある場合は、常に重要な運航状態にあたりと定めている航空会社もあり、PED の使用が許可される時期は各航空会社によって異なりますので、航空会社の指示に従ってください。

EMC に関する注意

目的とする環境に適した EMC (電磁的両立性) 分類基準を満たすために、シールド付き信号ケーブルを使用してください。

静電気は、メディアベース内部の電子部品に損傷を与える恐れがあります。静電気による損傷を防ぐためには、メディアベースの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。メディアベースの塗装されていない金属面に触れることで、静電気を除去できます。

メディアベースを使用するときの注意

メディアベースの損傷を防ぐために、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。

- 1 メディアベースを設置して作業を行う際は、メディアベースを平らな面に設置してください。
- 1 旅行の際には、メディアベースを手荷物として預けないでください。メディアベースは、X 線セキュリティ装置に通すことはできませんが、金属検知器には絶対に通さないでください。
- 1 旅行の際には、落下する可能性があるためメディアベースを頭上の収納スペースに置かないでください。メディアベースには、落下などによる衝撃を与えないでください。
- 1 メディアベース、バッテリー、ハードドライブは、土、ほこり、食品、液体などから保護してください。また、極端な温度や、過度に日光が当たる環境に放置しないでください。
- 1 温度や湿度が大幅に異なる環境にメディアベースを移動させると、メディアベースの表面や内部に結露が発生することがあります。メディアベースの損傷を避けるため、メディアベースを使用する前に、結露が蒸発するまで十分な時間を置くようにしてください。

注意: メディアベースを寒い場所から暖かい場所に移動したり、暑い場所から涼しい場所に移動した場合は、部屋の温度に慣らしてから電源を入れるようにしてください。

- 1 ケーブルを外す際は、ケーブルそのものを引っ張らずに、コネクタやストレーンリリーフループをつかんで抜いてください。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜いてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタの方向と位置が正しいかどうかを確認してください。
- 1 部品は正しい手順に取扱いください。部品を持つ場合は両端で持つようにして、ピンには触れないでください。

- 1 メディアベースに水がかかったり、損傷したりした場合は、コンピュータに同梱のマニュアルの「問題の解決」で説明されている手順に従ってください。この手順に従って対処してもメディアベースが正常に動作しない場合は、デルにお問い合わせください(連絡先については、コンピュータに同梱のマニュアルの「Dell へのお問い合わせ」を参照してください)。


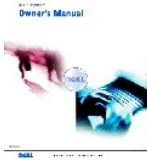



静電気障害への対処


静電気は、メディアベース内部の電子部品に損傷を与える恐れがあります。静電気による損傷を防ぐためには、メディアベースの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。メディアベース背面の塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。メディアベース背面の塗装されていない金属面に定期的に触れて、身体内に蓄積した静電気を除去してください。

さらに、静電気(ESD)による損傷を防止するために、以下の手順を実行することもお勧めします。

- 1 静電気に敏感な部品を梱包箱から取り出す場合は、部品を取り付ける用意ができるまで、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開梱する直前に、必ず身体から静電気を除去してください。
- 1 静電気に敏感な部品を運ぶ場合は、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 1 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気の発生しない場所で行ってください。なるべく静電気防止用のフロアパッドと作業用パッドを使用してください。

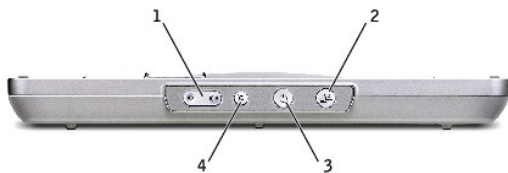
情報の入手方法

| 参照したい情報 | 参照先 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 チュートリアルおよびその他の情報にアクセスする方法 1 送り状のコピーを入手する方法 1 追加のマニュアル、ツール、トラブルシューティング、オンラインサポートリソースへのリンク | <p>Dell ソリューションセンター</p>  <p>Windows デスクトップのこのアイコンをクリックします。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 プリンタのセットアップ方法 1 コンピュータのセットアップに関する追加情報 1 トラブルシューティングおよび問題の解決方法 1 部品の取り外しおよび取り付け方法 1 仕様 1 デルへの問い合わせ方法 | <p>Dell™ Inspiron™ オーナーズマニュアル</p>  <p>メモ: このマニュアルは、PDF 形式のものを Web サイト support.jp.dell.com で参照いただけます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 コンピュータのセットアップ方法 1 保証に関する情報 1 安全にお使いいただくための注意 | <p>Dell™ Latitude™ システム情報ガイド</p>  <p>メモ: このマニュアルは、PDF 形式のものを Web サイト support.jp.dell.com で参照いただけます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 Microsoft® Windows® 使用のヒント 1 CD および DVD の使用方法 1 スタンバイモードおよび休止状態モードの使用法 1 ディスプレイの解像度の変更方法 1 コンピュータの掃除の仕方 | <p>Dell Inspiron ヘルプファイル</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート ボタンをクリックし、ヘルプとサポート をクリックします。 2. ユーザーズガイドおよびシステムガイド をクリックし、ユーザーズガイド をクリックします。 3. Inspiron Help をクリックします。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 部品の取り外しおよび交換方法 1 仕様 1 システムの設定方法 1 トラブルシューティングおよび問題の解決方法 | <p>Dell Latitude ユーザーズガイド</p> <p>Windows XP ヘルプとサポート センター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート ボタンをクリックし、ヘルプとサポート をクリックします。 2. ユーザーズガイドおよびシステムガイド をクリックし、ユーザーズガイド をクリックします。 <p>Microsoft Windows 2000</p>  <p>デスクトップの ユーザーズガイド アイコン  をダブルクリックします。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 サービスタグとエクスペリンスサービスコード 1 Microsoft Windows ライセンスラベル | <p>サービスタグおよび Microsoft Windows ライセンス</p> <p>これらのラベルはコンピュータに貼付されています。</p> |

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 コンピュータに対応したドライバ 1 テクニカルサービスやサポートに関する質問の答え 1 コンピュータのマニュアル |  <ul style="list-style-type: none"> 1 サービスタグは、support.jp.dell.com を使用の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 1 エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。エクスプレスサービスコードは、国によって利用できないことがあります。 1 Microsoft Windows ライセンスラベルの数字は、オペレーティングシステムを再インストールする場合に使用します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 Windows XP の使用方法 1 コンピュータのマニュアル 1 デバイス(モデムなど)のマニュアル | <p>デルサポート Web サイト — support.jp.dell.com</p> <p>デルサポート Web サイトでは、下記のようなメニューが提供されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 技術情報 — Q & A 集、トラブル解決ナビ、Diagnostics(診断プログラム)、インストールガイドなど。 1 ダウンロード — ファイルライブラリでは、ドライバ、ユーティリティなどのファイルのダウンロードサービス。 1 テクニカルサポートへのお問い合わせ — E-メールサポート、電話テクニカルサポート、引き取り修理状況確認。その他にも、参考資料、ショッピング、サポートツールなどのメニューがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 Windows XP の使用方法 1 コンピュータのマニュアル 1 デバイス(モデムなど)のマニュアル | <p>Windows ヘルプとサポートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. スタート ボタンをクリックし、ヘルプとサポート をクリックします。 2. 問題を説明する単語や語句を入力して、矢印のアイコンをクリックします。 3. 問題を説明しているトピックをクリックします。 4. 画面の指示に従います。 |

メディアベースについて

正面図



| | |
|---|--------------------------|
| 1 | 音量ボタン |
| 2 | アンドックボタン |
| 3 | 電源ボタン |
| 4 | ミュートボタン |

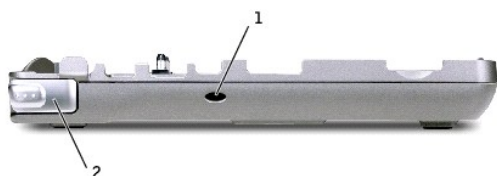
音量ボタン — 音量の上げ下げを行います。

アンドックボタン — 動作中のコンピュータをアンドックします。

電源ボタン — ドッキングされているコンピュータの電源をオン / オフにします。

ミュートボタン — 音量をミュートにします。

左側面図

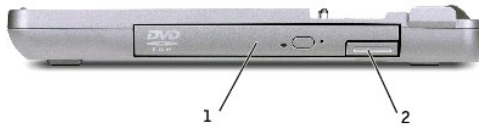


| | |
|---|---------------------------------|
| 1 | サブウーハー調整ポート用通気孔 |
| 2 | コンピュータリリースラッチ |

サブウーハー調整ポート用通気孔 — 調整ポートの空気循環に使用されます。

コンピュータリリースラッチ — コンピュータをメディアベースから取り外します(メディアベースが盗難防止デバイスで保護されていない場合に使用できます)。

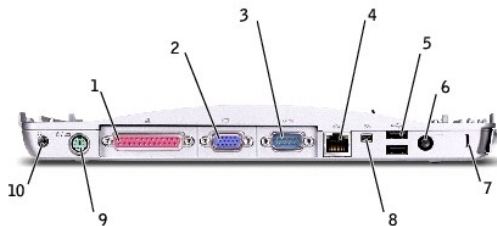
右側面図



| | |
|---|--------------------------------|
| 1 | オプティカルドライブベイ |
| 2 | デバイスリリースラッチボタン |





オプティカルドライブベイ — DVD、CD、CD-RW、フロッピードライブ、またはセカンドハードドライブなど、各種のドライブを使用できます。

背面図



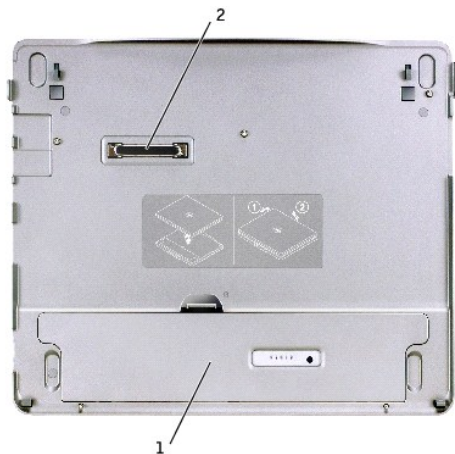
| | | | |
|---|---------------------------------|----|--------------------------------|
| 1 | パラレルコネクタ | 6 | ACアダプタコネクタ |
| 2 | ビデオコネクタ | 7 | セキュリティケーブルスロット |
| 3 | シリアルコネクタ | 8 | IEEE 1394コネクタ |
| 4 | RJ-45ネットワークコネクタ | 9 | PS/2コネクタ |
| 5 | USB 2.0コネクタ | 10 | ヘッドフォンコネクタ |

| コネクタ | 説明 |
|------|---|
| | パラレルコネクタ — パラレルプリンタなどのパラレルデバイスを接続します。 |
| | ビデオコネクタ — 外付け VGA モニタを接続します。 メモ: コンピュータがドッキングされている場合は、メディアベースのビデオコネクタを使用します。 |
| | シリアルコネクタ — シリアルマウス、ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスを接続します。 |

| | |
|---|---|
|  | <p>RJ-45 ネットワークコネクタ — メディアベースをネットワークに接続します。</p> <p>ネットワークコネクタの両脇には、ステータスライトがあります。</p> <p>右側のライトが点灯していない場合は、ネットワークとの接続がメディアベースで検出されていません。ネットワークケーブルを交換してみてください。右側のライトは、ネットワークがアクティブの場合に黄色で点滅表示します。</p> <p>左側のライトは、リンクの速度を表します。</p> <p>緑色が点灯 — 接続速度は 10 Mbps です。</p> <p>橙色が点灯 — 接続速度は 100 Mbps です。</p> <p>黄色が点灯 — 接続速度は 1 Gbps です。</p> <p>ネットワークアダプタを使用する場合の詳細については、コンピュータに同梱のマニュアルを参照してください。</p> <p>注意 : モデムケーブルをネットワークコネクタに接続しないでください。</p> |
|  | <p>USB 2.0 コネクタ — USB 2.0 準拠デバイスを 2 つまで接続できます。</p> |
|  | <p>AC アダプタコネクタ — メディアベースと AC 電源に AC アダプタを取り付け、AC 電源をメディアベースに必要な DC 電源に変換します。AC アダプタは、メディアベースのオン / オフに関係なく接続可能です。詳細については、「メディアベースのセットアップ」を参照してください。</p> <p>警告 : 複数のコンセントがある電源タップを使用する場合、AC アダプタの電源ケーブルを電源タップへ接続する際は、特に注意してください。電源タップによっては、プラグが正しく差し込まれていなくても、差し込めることがあります。電源プラグを正しく差し込まないと、メディアベースが修復不能な損傷を受けたり、感電したり発火したりする恐れがあります。電源プラグのアースピンが、電源タップの対となるアース端子に挿入されていることを確認してください。</p> <p>注意 : AC アダプタをメディアベースから抜くときは、ケーブルではなくアダプタケーブルコネクタを持ち、ケーブルを傷付けないように慎重にしっかりと抜いてください。</p> |
|  | <p>IEEE 1394 コネクタ — デジタルカメラやビデオカメラなど、IEEE 1394 高速転送速度をサポートするデバイスを接続します。</p> |
|  | <p>PS/2 コネクタ — マウス、キーボード、外付けテンキーなどの PS/2 互換デバイスを接続します。</p> <p>PS/2 互換デバイスを取り付ける場合は、その前にコンピュータをシャットダウンします。デバイスが使用できない場合は、デバイスに付属のフロッピーディスクまたは CD からデバイスドライバをインストールして、コンピュータを再起動します。</p> <p>内蔵キーボードと外付けテンキーを同時に使用できます。PS/2 のテンキーを取り付けた場合、内蔵キーボードのテンキーは使用できません。</p> |
|  | <p>ヘッドフォンコネクタ — ヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。このコネクタはステレオ出力コネクタです。</p> |

セキュリティケーブルスロット — 市販の盗難防止デバイスをメディアベースに取り付けることができます。盗難防止デバイスの取り付け方法は、デバイスに付属しています。詳細については、「[メディアベースの固定](#)」を参照してください。

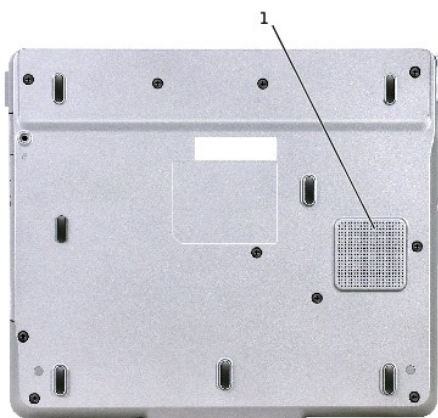
平面図



| | |
|---|-------------------------|
| 1 | バッテリーベイ |
| 2 | ドッキングコネクタ |

バッテリーベイ — 28-WHr バッテリーの充電を行います。

底面図



| | |
|---|--------|
| 1 | サブウーハー |
|---|--------|

メディアベースのセットアップ

注意: 必ずメディアベースに付属するデル製の AC アダプタを使用してください。市販の AC アダプタ、または旧モデルの Dell コンピュータの AC アダプタを使用すると、メディアベースまたはコンピュータを損傷する恐れがあります。

1. AC アダプタを AC アダプタコネクタに接続し、コンセントに接続します。



2. コンピュータをドッキングする前に、オペレーティングシステムのセットアッププロセスを完了させる必要があります。オペレーティングシステムのセットアッププロセスが完了しているかを確認するには、以下の手順を実行します。
 - a. コンピュータがメディアベースに接続(ドッキング)されていないことを確認します。
 - b. コンピュータの電源を入れます。
 - c. Microsoft® Windows® デスクトップが表示されることを確認します。
 - d. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。

メディアベースの固定

メモ: コンピュータがメディアベースにドッキングしている場合、メディアベースのセキュリティケーブルスロットに盗難防止デバイスが取り付けられていると、コンピュータをアンドックできません。



| | |
|---|--------------------------------|
| 1 | セキュリティケーブルスロット |
|---|--------------------------------|


3. メディアベースのセキュリティケーブルスロットに、市販の盗難防止デバイスを取り付けます。

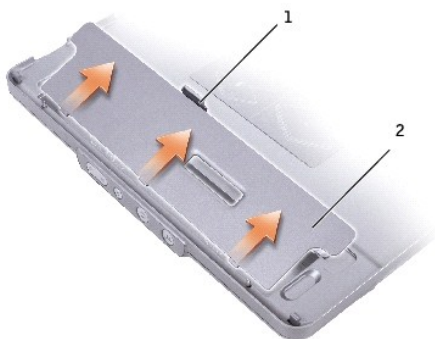
通常、盗難防止デバイスには、金属線によったケーブルに、固定装置と鍵が付属しています。この種の盗難防止デバイスを取り付ける手順については、デバイスに付属するマニュアルを参照してください。

バッテリーの取り付け

バッテリーをバッテリーベイに挿入するには、次の手順を実行します。

1. バッテリーベイラッチを手前に引きながら[バッテリーベイカバー](#)を持ち上げます。

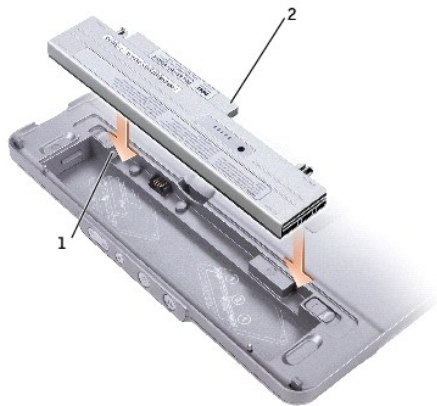
 **メモ:** バッテリーをベイに取り付けたりベイから取り外したりする手順については、バッテリーベイの内側にあるラベルを参照してください。



| | |
|---|----------|
| 1 | バッテリーラッチ |
|---|----------|

| | |
|---|------------|
| 2 | バッテリーベイカバー |
|---|------------|

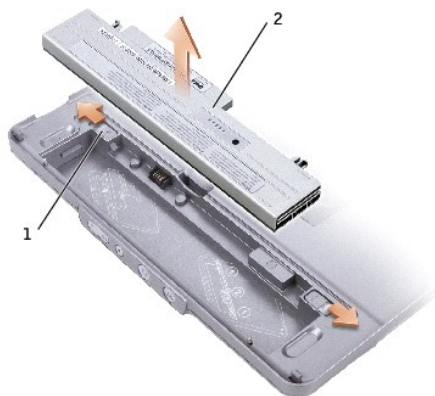
2. バッテリーをバッテリーベイに挿入して、カチッと音がするまで押し込みます。[バッテリーラッチ](#)が両方ともしっかり機能していることを確認します。
3. [バッテリーベイカバー](#)を元に戻します。



| | |
|---|-------------|
| 1 | バッテリーラッチ(2) |
| 2 | バッテリー |

バッテリーをバッテリーベイから取り外すには、次の手順を実行します。

1. [バッテリーベイカバー](#)を持ち上げます。
2. バッテリーラッチを両方とも矢印の方向にスライドさせて、バッテリーをベイから取り外します。



| | |
|---|-----------------|
| 1 | バッテリーリリースラッチ(2) |
| 2 | バッテリー |

コンピュータのドッキング

メモ: はじめてコンピュータをドッキングさせる際に「[メディアベースのセットアップ](#)」の手順が完了していない場合は、次の手順に進む前にこの手順を完了させてください。

メモ: はじめてコンピュータをドッキングした後は、メディアベースが AC アダプタに接続されていなくても、コンピュータのバッテリーまたはコンピュータの AC アダプタ接続によってメディアベースに電力を供給できます。

1. コンピュータの前面とメディアベースの前面が合う位置で、コンピュータをメディアベースの上に置きます。



| | |
|---|------------|
| 1 | メディアベースの背面 |
| 2 | コンピュータの正面 |

2. コンピュータをカチッと音がするまで静かにメディアベースに押しつけると、コンピュータは所定の位置に収まります。
3. コンピュータの電源を入れます。

オペレーティングシステムがメディアベースを認識します。

メモ: はじめてドッキングするときのみ、コンピュータの電源を切る必要があります。

コンピュータのアンドック

1. コンピュータをアンドックする前に、開いているファイルがあればすべて保存して閉じ、開いているプログラムをすべて終了します。
2. コンピュータの電源の管理の設定を使用して、ディスプレイを閉じた(下げた)場合にコンピュータがスタンバイモードまたは休止状態モードにならないようにするには、次の手順を実行します。

Windows® XP の場合

- a. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- b. **作業する分野を選びます** から、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- c. **コントロールパネルを選んで実行します** から、**電源オプション** をクリックして **詳細設定** タブをクリックします。
- d. **コンピュータの電源ボタンを押したとき** ドロップダウンメニューで **何もしない** を選択します。

Windows 2000 の場合

- a. **スタート** ボタンをクリックし、**詳細設定** をクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- b. **電源オプション** アイコンをダブルクリックして **詳細** タブをクリックします。
- c. **コンピュータの電源ボタンを押したとき** ドロップダウンメニューで **電源オフ** をクリックします。

注意: コンピュータをアンドックする前に、必ずアンドックする準備を行ってください。コンピュータを準備する前にアンドックすると、データが失われ、コンピュータが数分間通常の動作に回復しない場合があります。

3. コンピュータをアンドックできる状態に準備するには、次の手順の 1 つを実行します。
 1. **Windows XP の場合は**、**スタート** ボタンをクリックして **コンピュータの装着解除** をクリックします。

Windows 2000 の場合は、**スタート** ボタンをクリックして **PC の取り外し** をクリックします。

または

1. メディアベースの正面にあるアンドックボタンを 1 秒間押します(「[正面図](#)」を参照してください)。
4. メディアベースが固定されている場合は、ロックを解除します。
5. コンピュータリリースレバーを引いて(「[左側面図](#)」を参照)、コンピュータを取り外します。



6. コンピュータをメディアベースから離します。

ドライブの取り付け


1. 開いているファイルがあればすべて保存して閉じ、開いているプログラムをすべて終了します。
2. ドライブをメディアベースのオプティカルドライブベイに挿入します(「[右側面図](#)」を参照してください)。
3. オペレーティングシステムにより新しいドライブが認識されます。

ドライブの取り外し

1. 開いているファイルがあればすべて保存して閉じ、開いているプログラムをすべて終了します。
2. ドライブのリリースラッチを押して、ドライブをベイから引き出します。(「[右側面図](#)」を参照してください)。

外付けドライブの接続と取り外し

1. コンピュータの電源がオフのときに、フロッピードライブ、CD-ROM ドライブ、CD-RW ドライブ、または DVD/VD-RW ドライブなどの外付けドライブを接続するには、ドライブケーブルをメディアベースの USB コネクタに接続します(「[背面図](#)」を参照してください)。
1. コンピュータの電源がオフのときに外付けドライブを取り外すには、USB コネクタからドライブケーブルを抜き取ります。
1. コンピュータが動作しているときにドライブの取り付けまたは取り外しを行う場合は、次項の「[コンピュータが動作中の外付けドライブの置き換え](#)」を参照してください。

 **注意:** 外付けドライブへの損傷を防ぐため、コンピュータに接続していないときは、安全で湿度の低い場所に保管してください。ドライブを強く押ししたり、重い物を上面に置いたりしないでください。

コンピュータが動作中の外付けドライブの置き換え

Windows XP の場合

1. Windows タスクバーの **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り出すドライブをクリックし、**停止** をクリックします。
3. USB コネクタからドライブケーブルを抜き取ります。
4. ドライブケーブルを USB コネクタに差し込んで、新しいドライブを接続します。

オペレーティングシステムにより新しいドライブが認識されます。

必要に応じ、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

Windows 2000 の場合

1. Windows タスクバーの **ハードウェアの取り外しまたは取り出し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り出すドライブをクリックし、**停止** をクリックします。
3. **OK** をクリックし、取り出すドライブが **ハードウェアの取り外し** ウィンドウのデバイスリストから削除されるのを待ちます。
4. **OK** をクリックします。
5. USB コネクタからドライブケーブルを抜き取ります。
6. ドライブケーブルを USB コネクタに差し込んで、新しいドライブを接続します。

オペレーティングシステムにより新しいドライブが認識されます。

仕様

| 物理的仕様 | |
|------------------|-----------|
| 高さ | 20 mm |
| 幅 | 274.80 mm |
| 奥行 | 235.70 mm |
| 重量(オプティカルドライブなし) | 0.84 kg |

| AC アダプタ | |
|----------------|--------------|
| 入力電圧 | 90 ~ 264 VAC |
| 入力電流(最大) | 1.2 A |
| 入力周波数 | 47 ~ 63 Hz |
| 出力電流(最大) | 3.34 A |
| 出力電力 | 65 W |
| 定格出力電圧 | 19.5 VDC |
| 寸法: | |
| 高さ | 27.94 mm |
| 幅 | 58.42 mm |
| 奥行 | 133.85 mm |
| 重量(DC ケーブルを含む) | 0.4 kg |
| 温度範囲: | |
| 稼働時 | 0 ~ 35 °C |
| ストレージ | -40 ~ 65 °C |

| ポートとコネクタ | |
|------------|---|
| シリアル | 9 ピンコネクタ、16550C 互換、 16 バイトバッファコネクタ |
| パラレル | 25 ホールコネクタ、一方向、双方向、または ECP |
| USB | 4 ピン USB 対応コネクタ × 2 |
| ビデオ | 15 ホールコネクタ |
| オーディオ | ヘッドフォン / スピーカー(出力)ミニコネクタ |
| PS/2 | 6 ピンミニ DIN コネクタ |
| IEEE 1394 | 4 ピンコネクタ |
| ドッキング | 100 ピンコネクタ |
| ネットワークアダプタ | 10/100/1000 Mbps BaseTX バスマスターイーサネット用 RJ-45 ポート |

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

認可機関の情報

Dell™ Latitude™ X300 および Inspiron™ 300m メディアベース ユーザーズガイド

- [ENERGY STAR® 準拠](#)
- [VCCI 規定\(情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定 / 日本のみ\)](#)

EMI(電磁波障害: Electromagnetic Interference)とは、自由空間に放射または電源コードや信号線に伝導する信号または放射電磁波のことで、無線航海やその他の安全サービスを危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい質の低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスとは、AM/FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS(Personal Communication Services)などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、メディアベースを含むデジタル装置などの電波放射を目的としない装置とともに、電磁環境に影響を与えます。

EMC(電磁的両立性: Electromagnetic Compatibility)とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本メディアベースは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかは、装置の電源をオン / オフすることによって判定できますので、以下の方法を 1 つ以上実施してみてください。

- 1 受信アンテナの方向を変えてください。
- 1 受信機に対するメディアベースの位置を変更してください。
- 1 受信機から離れた位置にメディアベースを移動してください。
- 1 メディアベースを別の電源コンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

必要があれば、デルテクニカルサポートまたはラジオ / テレビ専門技術者に相談してください。

Dell™ メディアベースは、下記の使用環境に合わせて設計、試験、分類されています。これらの電磁環境の分類は、一般に次の統一定義を表わします。

- 1 クラス A は、主として商工業環境用です。
- 1 クラス B は、主として住宅環境用です。

情報技術機器(ITE: Information Technology Equipment)は、デバイス、拡張カード、プリンタ、入出力(I/O)装置、モニタなどを含み、メディアベースに統合または接続されるもので、メディアベースの電磁環境の分類に適合しなければなりません。

シールド付き信号コードに関する告知: デバイスをデル製品へ接続する際はシールドケーブルのみを使用して、無線通信サービスを干渉する可能性を減らしてください。シールドケーブルの使用により、目的とする環境に適した EMC 分類基準を満たします。

Dell コンピュータの大部分は、クラス B 環境装置として分類されています。ただし、特定のオプションを追加することにより、その構成によっては クラス A となる場合があります。お使いのコンピュータまたはデバイスの電磁的分類を確認するには、認可機関に関する以下の各項を参照してください。以下の項には、EMC/EMI または製品の安全に関する情報が記載されています。

ENERGY STAR® 準拠

Dell 製コンピュータの特定の構成は、EPA(Environmental Protection Agency)によって規定されるエネルギー効率の高いコンピュータの基準に準拠しています。お使いのコンピュータのフロントパネルに ENERGY STAR® マークが貼付されている場合は、発送時の構成がこれらの基準に準拠しており、コンピュータの ENERGY STAR® 電源管理機能が有効になっています。

メモ: ENERGY STAR® マークの貼付された Dell 製コンピュータは、Dell から出荷される時点の構成が、EPA ENERGY STAR® 規格に準拠していることが保証されています。発送時の構成を変更すると(追加の拡張カードやドライブ等の取り付けによって)、消費電力が EPA の ENERGY STAR® コンピュータプログラムによって設定される制限を超える可能性があります。



EPA の ENERGY STAR® コンピュータプログラムは、EPA とコンピュータ製造メーカーの共同事業であり、エネルギー効率の高いコンピュータ製品を促進することにより大気汚染の減少を目指しています。EPA の試算では、ENERGY STAR® コンピュータ製品を使用することにより、コンピュータユーザーの電気代を年間 20 億ドル削減できます。電気の消費量が減ることで、温室効果の主要な原因である二酸化炭素や、酸性雨の源となる二酸化硫黄や窒素酸化物の排出を抑えることができます。

また、夜中や週末などに長時間コンピュータを使用しない場合は、コンピュータの電源をオフにすることにより、電気の消費量の削減に寄与できます。

VCCI 規定 (情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定 / 日本のみ)

Dell コンピュータの大部分は、VCCI でクラス B 情報装置 (住宅またはその隣接した地域にて使用されるべき情報装置) として分類されています。ただし、特定のオプションを追加することにより、その構成によってはクラス A となる場合があります。情報技術機器 (ITE: Information Technology Equipment) は、デバイス、拡張カード、プリンタ、入出力 (I/O) 装置、モニタなどを含み、コンピュータに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の分類 (クラス A または B) に適合しなければなりません。

お使いのコンピュータの分類については、コンピュータの底面、側面、および背面パネルに添付されている認定ラベルまたはマーク (「VCCI クラス A ITE 認定マーク」および「VCCI クラス B ITE 認定マーク」) を確認してください。コンピュータの VCCI 分類を確認したら、該当する VCCI の通達をお読みください。

クラス A ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI クラス A ITE 認定マーク

認定ラベルに次のマークが記載される場合は、ご利用のコンピュータはクラス A 製品に分類されます。

VCCI

クラス B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI クラス B ITE 認定マーク

認定ラベルに次のマークが記載される場合は、ご利用のコンピュータはクラス B 製品に分類されます。



[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

デル製品の保証および返品について

Dell™ Latitude™ X300 および Inspiron™ 300m メディアベース ユーザーズガイド

Dell Computer Corporation (「Dell」)では自社のハードウェア製品を、業界標準の方法に従って、新品あるいは新品に同等の部品およびコンポーネントから製造しています。メディアベースに関する Dell の限定保証については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

[目次に戻る](#)